

修正会（1月1・2・3日）

本尊様に見守られ 新年迎える



初詣は「神社」と思われがちですが、
仏教にも初詣のならわしがあります。



「除夜の鐘」は、一年間で積み重ねられた「煩惱（迷い）」を打ち払うため、
鐘を108回（煩惱の数）打つこととはご存じのとおりです。

こうして大晦日に「除夜の鐘」を打ち、心を清めたきれいな状態となり、
新年「何はともあれ、行かすにはいられない」という気持ちで
先祖が安置されている菩提寺へ詣り、昨年一年間のご加護を感謝します。
そして、「今年も心新たに、私は仏教徒として仏様の教えを守っていきます、
どうぞお見守り下さい」と仏様にお伝えするのが、「初詣」なのです。



では、なぜ1月1・2・3日を
「修正会」というのでしょうか。

私たちの心の中には、常に「煩惱」が入り込みます。

「はけば散り 払（はら）えば またも塵（ちり）積もる
庭の落ち葉も 人の心も」

掃いても掃いても落ち葉は積もるけれども、落ち葉をきちんと掃除するよう
に、自分の心もきちんと正し、「煩惱」が生まれても修していくことを
年初に仏様に誓うため、「修正会」という名が付いているのです。

大智寺だより

平成 23 年 如月

発行所

大智寺

岐阜市山県北野

868-1

電話：058-229-1532

Mail:

hybr245@ybb.ne.jp

ホームページ

大智寺

検索

<http://www.geocities.jp/daititoukai>

les.jp/daititoukai

今月の当紙発行には、
山口染色様の
ご支援をいただきました。
ありがとうございます。

広がる大智寺の幅

〜二期一会その発展〜

岐阜市が散策マップの看板を

お寺に設置されるそうです。

1月17日、お寺に岐阜市まちづくり課の方がおいでになりました。岐阜市では、平成21年度に三輪地域の歴史めぐりのできる散策マップを作成されたそうで、今回はその散策マップを看板にし、お寺の境内に設置したいとのこと要望でした。

岐阜市の想定している看板は、結構大きくて、幅は約2メートルほどありそうです。時期は未定ですが、どんな看板が立つか、お楽しみです。



岐阜ファミリーパークにて

遊具の開園式があります。

岐阜ファミリーパークという大きな公園が大智寺の近くにあります。お墓参りの帰りなどに寄っていかれる親子様もいらっしゃると思います。休日には芝生の上で若者男女大勢の方々がスポーツやピクニックを楽しんでいる、ほのほのとした公園です。

その一角に今回宝くじ協会の多額なご支援のもと大きな遊具が出来上がります。そしてこの三輪地域だけでなく、より広い地域のお子様方が楽しめる公園へと大きく一歩踏み出します。少子化が叫ばれるこの時代に、一人でも多くの子の笑顔が、この三輪の地域で生まれることは地域住民としてとても嬉しく思います。

そんな折、三輪北自治会連合会の会長様より「ファミリーパークでの宝くじ遊園完成記念式典の回会進行をしてくれないか」とのお話があり、お引当は「おんじ」となりました。ご存じのように若おくりは、人前で回会を務めるなど初めてです。しかし、多くの子が安全に笑って遊べる公園のため、お役に立てるのであれば、「これも仏様の与えて下さったご縁」一輪一杯努めたいと思います。



大智寺紹介ファイル、リニューアルしました

この大智寺だよりも、ようやく一周年を迎えます。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、「大智寺までいらっしやなくても 眺んでいただけるように」との思いから以前より喫茶店、美容院、お食事処などに大智寺だよりをファイルにして置かせていただいておりますが、今回そのファイルを新しくしました。機会があれば、ちょっと見てみてくださいな。



2月15日は涅槃会（ねはんえ）

～ お釈迦様が亡くなられた日 ～

本堂に涅槃図が掛けられます。どなた様もどうぞお参りください。



2月15日は、お釈迦様のご命日です。
お釈迦様は80歳の頃、供養を受けて腰痛におそわれます。
そして、川岸の沙羅双樹の林にお休みになりました。



その沙羅双樹の林で、お釈迦様は多くの弟子たちに巖期の説法をされました。
「すべてのものは移り変わり、必ず消滅するものだ。永遠に存在するものはない。
私が亡き後は、私の説いた法と教えを基に、修行に励みなさい。」
こうお釈迦様は脱かれて、涅槃（ねはん）に入られたのです。



「涅槃（ねはん）」とは、吹き消す、消滅するという意味があります。
つまり、「むさぼりの心」「怒りの心」「愚かな心」が、永遠に消え尽きた状態を指します。

この2月15日、各お寺では「涅槃図（ねはんず）」の掛け軸が掛けられます。
この掛け軸には、お釈迦様が沙羅双樹の下で横になられ、
多くの弟子や菩薩、鬼神や鳥獣たちが泣き悲しんでいる様子が描かれています。



お釈迦様が亡くなられた悲しみが、ひしひしと伝わってくる一瞬です。

～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

里5号のおばあちゃん 甘～い切干大根作り

- ① 大根を煮物などに使う時、皮をくるくるっとむいておき、捨てない。
- ② その大根の皮を縦長に切って、ざるに平らに広げる。
- ③ 2～3日乾燥した寒風の中、水分がなくなるまで干しておく。
- ④ カラカラに乾いたら、密封できるジッパーなどに入れておく。

「大根は、一本丸ごと捨てる場所がない、ええ野菜じゃ。
使いきれなかった種つゆに酢をちょっと入れて、つけ汁を作って
水に戻して搾った切干大根とつけ汁をビニール袋に入れとけば、
その日の夕方にはお酒のつまみにもなるよ、体にもいいんやよ～」



岐阜新聞（1月5日）にて 「黄山社」ゆかりの文台記事掲載

正月早々、岐阜新聞に取り上げられた文台。
この文台は、江戸中期より獅子門の地方結社
「黄山社」に伝わっていたものです。

一見、ぼろぼろに見える小机。何に使うかとい
うと、俳席で懐紙や短冊を載せるために使
われるものです。「獅子門」では、この文台
は各地方結社を象徴する道具として、とても
大切に扱われています。

俳諧結社として最も歴史が古い「獅子門」
この文台は歴史を超えて、心豊かに俳句をひ
ねる三輪文化人の面影を伝えています。



今月のひまわり

2月は節分の豆まきから始まります。
「季節を分ける」と書く節分は本来立春
立夏・立秋・立冬の前日を指しますが、今
では特に春を呼ぶ行事として定着してい
ます。「鬼は外、福は内」との掛け
声とともにまく豆ですが、鬼はいったいど
こから来るのでしょうか。

鬼は家の北東の方角である「鬼門」から
出入りすると言われていました。そこで、豆
をまき、その鬼門を祓い清めることによっ
て、無事に春を迎えられるのだと。

「まあいいじゃん？ 鬼門なんて考えず
に豆まこうよ」と思える現代っ子とは違
い、その昔、鬼門はとても恐れられていた
のです。たとえば、大智寺もそう。

約500年前、この地を治めた北野城の
鬼門（北東方向）が、すばり大智寺のある
方向であったことから、当時のお殿様が
「この城の鬼門を覆るため、お寺を建てよ
う」と言って建てたのが大智寺なのです。

……当時のお殿様は鬼門に豆をまくた
けでなく、お寺も建てられた、それほど鬼
門というのは恐れられ、覆られた方角であ
ったことが節分を通して伝わってきます。

永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方がいなくても、
永代にわたって、お寺どが守って供養するお墓のこと。

「本願寺派の私も、永代供養墓に入ったら月命日の供養はあるの？」
大智寺では、それぞれの宗教に合わせた供養はできませんが、
臨済宗に則った月命日の供養をさせていただいております。

「月命日の供養ってどんなことをやるの？」

たとえば4日にお亡くなりになった方の場合、毎月4日本堂での
朝課にてお経をお唱えし、「このお経を〇〇さんの功德としてくださ
い」と回向（えこう）いたします。

完全個別永代供養墓

1区画：25万円～
（墓石代金含む）

特色

- ◎宗教・宗派 不問
- ◎大智寺での供養内容
月命日の供養
春秋彼岸の供養
- ◎追加納骨 可能
夫婦、家族でご利用可
（追加料金 なし）